

令和5年度 学校評価書

四万十市立蕨岡小学校

学校長（石川 真紀） 印

1. 学校教育目標

自ら学び 豊かにかかわり合い たくましく生きる 児童の育成
～ アクティブに鍛える ～

2. 本校の現状

児童数19名、学級数4（特別支援・情緒1）、職員8名。完全複式として8年目を迎える。豊かな自然と協力的な地域の人材に恵まれた環境の中で、児童は素直で真面目に、落ち着いた態度で学習に取り組むことができる。「複式学習のスタンダード」の確立を通して、自力解決能力や仲間との協働的な学びにおいて力を入れている。昨年度の県学力定着状況調査（12月実施）では、4年国語科全国比+28.0P、算数科+16.1P、5年国語科+23.5P、算数科+12.7P、理科+5.2Pという良い結果であった。年間を通じて朝運動等で体力向上にも努め、体力テストでは、5段階A～E評定のうち全員がC評定以上であり、体力面も安定してきている。
課題は、学力の個人差であり、特に発達障害のある児童への個に合った効果的な指導について協議しながら進めている。
温かな学校・学級づくりを進めることで、自己肯定感や自尊感情を高めていくことを大事にしながら指導を展開していきたい。

3. 本年度の評価項目

- [1]学力向上
 - ①学力向上のための組織的な校内研修等の取組
 - ②主体的・対話的・深い学びを実現する授業づくり
 - ③予習・復習の質と量を高める取組
 - ④読書活動の充実
- [2]生徒指導
 - ①いじめの防止等のための取組
 - ②不登校への総合的な対応のための取組
 - ③基本的な生活習慣の確立
- [3]学校・家庭・地域の連携・協働
 - ①保小、小中の円滑な接続の推進
 - ②ふるさと教育の推進
 - ③みんなであいさつ運動(市独自)
- [4]働き方改革(業務改善)
 - ①登退庁時間の確認と定時退勤の実施
 - ②チーム蕨岡の構築と業務の平準化の徹底
- [5]オール四万十
 - ①学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善(複式教育・算数科・ICT教育)

4. 自己評価

評価項目		評価指標	取組状況・成果	評価	次年度の方策
大	中				
(1) 学力向上	①学力向上のための組織的な研修等の取組	・研究授業を含め公開授業を年間各学級2回以上実施 ・授業力チェックシートの活用(各自2回以上で比較、検討) ・外部講師年間3回以上招聘			
	②主体的・対話的・深い学びを実現する授業づくり	・「めあて」の提示が、学習の見通しと「まとめ」に連動するようにする。 ・「学校・学級が楽しい」「授業が分かる」の児童評価90%超			
	③予習・復習の質と量を高める取組	・生活リズム点検において、家庭学習時間の把握と内容の充実を図る。 ・年間5回以上のノート公開により、個人思考のあるノートや自主学習の内容充実を図る。			

④読書活動の充実	・各学年の必読図書を2学期までに読破する。 ・年間目標冊数達成率90%以上。高知新聞『読もっか』投稿、質的向上			
----------	------------------------------------------------------------	--	--	--

〔2〕生徒指導	①いじめの防止等のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・人権集会（年2回）、道徳参観日や人権教育参観日の実施 ・合同体育・音楽、児童会活動等を通じた異学年交流の実施 ・エンカウンター年3回、ありがとうの木毎週共有 				
	②不登校への総合的な対応のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に寄り添った、居場所のある学級づくりの推進 ・校内研、職員会、校内支援委員会で児童の情報交換、支援体制の確認 ・SCとの連携強化 				
	③基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・生活点検の実施と分析による保小・家庭との連携。「メディア」の改善。 ・保健便り、学校通信等による食育、メディアに対する啓発活動を年間8回以上 				
〔3〕学校・家庭・地域の連携・協働	①保小、小中の円滑な接続の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保小連絡会で生活等に対する共通理解を図る。（年間3回以上）読み聞かせ交流や学習発表会、運動会等により交流を密にする。（年間6回以上） ・中村中校区8校での授業交流や体験学習、職員研修の実施 				
	②ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部事業も活用し、年間を通じて地域講師やボランティアを招く。 ・生活科、総合的な学習を中心にふるさと教育を展開 				
	③みんなであいさつ運動	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や「わたたけノビビ会」と連携し、登下校のあいさつ運動を充実させる。 ・児童集会や学級活動を通じ、児童自ら行動できるあいさつ活動を推進する。 				
〔4〕働き方改革（業務改善）	①登退庁時間の確認と定時退勤の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・登退庁時間を正確に把握し、月超過時間45時間以内を意識し守る。（90%以上） ・定時退勤を月4回以上実施する。 				
	②チーム蔵岡の構築と業務の平準化の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・2部会（学び・仲間プロジェクト）を構成し、担当を決め校務を整理し、提案・分析・検証を行う。 ・データ一元化の徹底、ペーパーレス会議の継続、ICTの積極的活用を行う 				
〔5〕オール四万十	①学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年度、授業づくり講座拠点校として行った研究を継続・深化させる。 ・chromebookの効果的な活用 ・複式、算数科の学習指導案の改良を更に進め、ポイントを絞り授業改善に努める。（蔵岡版単元デザイン、指導計画） 				

4段階評価（4 目標を十分に達成、 3 ほぼ目標を達成、 2 やや不十分、 1 改善を要する）

5. 学校関係者評価